



七戸の 議会だより

2021年

NO. 65

令和3年8月1日発行

青森県七戸町議会

広報編集特別委員会



「梅雨の晴れ間のひととき」

7月4日の日曜日、中央公園にはたくさんの子供や家族連れでにぎわっていました。

芝生では、テントやレジャーシートを広げて子供を遊ばせる家族連れや、木陰でくつろぐ姿も見られました。

公園に来ていた人たちは、新型コロナ感染拡大防止のため、マスクを着けて楽しんでいました。

6 月 定 例 会

定例会・臨時会の主な審議内容……………	2～4
「教えて！にんに君」……………	4
一般質問に5人登壇……………	5～6
一般質問……………	7～11
委員会の動き……………	12

6月 定例会

主な審議内容

議 案

○空き公共施設等利活用
促進条例の制定

用途を廃止した公共施設等を利用して事業を行う事業者に対し、奨励措置を講ずることにより有効活用と地域の活性化を図りたいことから、条例を制定するものです。

☆全会一致で可決

○町税条例の一部改正

納期前納付に係る報奨金を廃止したいことから、条例を改正するものです。

☆全会一致で可決

令和 3 年第 2 回定例会は 6 月 1 日に開会し、白石洋議会運営委員長の報告のとおりに、会期を 8 日までの 8 日間と決定しました。
1 日は、今定例会に上程された議案について町長の提案理由説明、2 日は一般質問（5 人）、最終日の 8 日は議案審議を行いました。
提出された議案は、本会議で審議され、全議案可決し閉会しました。

○国民健康保険条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国民健康保険税の減免を遡って行うことができるよう、条例を改正するものです。

☆全会一致で可決

○介護保険条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等による影響を受けた第 1 号被保険者に対し、令和 3 年度における保険料の減免の特例が受けられるよう、条例を改正するものです。

☆全会一致で可決

○青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少

及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更

構成団体である十和田地区食肉処理事務組合が令和 3 年 6 月 30 日をもって解散することに伴い、地方自治法の規定に基づき変更するものです。

☆全会一致で可決

○青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更

構成団体である十和田地区食肉処理事務組合が令和 3 年 6 月 30 日をもって解散することに伴い、地方自治法の規定に基づき変更するものです。

☆全会一致で可決

○物品購入契約の締結（消防ポンプ自動車 C D ー 型購入）

消防ポンプ自動車の購入契約のため、議会の議決を求めるものです。

☆全会一致で可決

○令和 3 年度補正予算（下表参照）

☆全会一致で可決

報 告

○令和 2 年度七戸町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

令和 2 年度の予算のうち令和 3 年度へ繰り越したものの（20 事業）について報告するものです。

☆報 告

○令和 2 年度七戸町一般会計事故繰越し繰越計算書の報告

令和 2 年度の予算のうち令和 3 年度へ繰り越したものの（1 事業）について報告するものです。

☆報 告

○令和 2 年度七戸町後期高齢者医療特別会計繰越明許費繰越計算書の報告

令和 2 年度の予算のうち令和 3 年度へ繰り越したものの（1 事業）について報告するものです。

☆報 告

○令和 2 年度七戸町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告

令和 2 年度の予算のうち令和 3 年度へ繰り越したものの（1 事業）について報告するものです。

☆報 告

○令和 2 年度七戸町水道事業会計繰越明許費繰越計算書の報告

令和 2 年度の予算のうち令和 3 年度へ繰り越したものの（1 事業）について報告するものです。

☆報 告

区 分	補 正 額	予算総額
一 般 会 計	1,219万8千円	101億9,403万6千円
国民健康保険	▲ 146万7千円	18億5,530万5千円
後期高齢者医療	87万6千円	4億1,724万8千円
介護保険	78万9千円	26億8,391万0千円
介護サービス事業	6万3千円	536万5千円
公共下水道事業	▲ 475万3千円	3億9,289万3千円
農業集落排水事業	125万0千円	7,228万3千円
水道事業会計	収益的収入 ▲ 27万0千円 収益的支出 ▲ 121万5千円	3億3,530万1千円 3億0,220万1千円

令和 3 年度
6 月補正予算

諮問

○人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員に濱中幸氏を推薦するためのものです。

☆全会一致で同意

○七戸町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について

地方自治法の規定により委員として、新館雄一氏、新館文夫氏、天間弘臣氏、藤賀慶二氏、補充員に、附田繁志氏、天間良一氏、田中忠則氏、上原子一治氏を選出しました。

選挙管理委員長



新館 文夫 氏

選挙管理委員



新館 雄一 氏



天間 弘臣 氏



藤賀 慶二 氏

発議

○七戸町議会会議規則の改正

標準町村議会会議規則が改正されたことに伴い、欠席等の届出及び請願書の記載事項等に関して改正するものです。

☆全会一致で可決

○七戸町議会道路整備促進特別委員会の設置目的の追加

現在の目的に、下北半島縦貫道路、その他幹線道路の状況についても長期的に調査ができるように追加するものです。

☆全会一致で可決

請願

○「学校給食の無償化」を国に求める意見書の提出

☆採択

追加議案

○令和3年度一般会計補正予算(第4号)

1219万8千円を追加し、総額を101億9403万6千円とするものです。

☆全会一致で可決

定例会での主な感染症対策

- ・会議室入出時の手指消毒、マスク着用
- ・ドアや窓を開放しての会議室の換気
- ・傍聴者に感染症対策への協力を要請
- ・風邪症状がある場合の会議出席自粛

但し、議長が許可する場合は、この限りではありません。例えば、騒音による窓の開閉、壇上や質問者席でのマスクの着脱等。



議案

○教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

教育委員会委員に附田由喜枝氏を再任するためのものです。

☆全会一致で同意

○監査委員の選任につき同意を求めることについて

監査委員に吉川正純氏を任命するためのものです。

☆全会一致で同意

第1回臨時会

令和3年5月7日

ことばのヒント！ 議会運営委員会って？

学生：本会議の1週間前を目途に「議会運営委員会」というものが開催されると聞きましたけどどういう会議ですか？

先生：議会運営委員会とは、会議の進行などについて打ち合わせをし、スムーズに運営できるように調整する会議です。

学生：ということは、そこではじめて本会議の概要がわかるのですね。

先生：そのとおり。もう少し詳しく言うと、①議会の運営に関する事項、②議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項、③議長の諮問に関する事項について調査を行い、議案、陳情等を審査するところです。

学生：議員全員が委員会のメンバーなのですか？

先生：町の委員会条例では、定数が6人と決まっています。ちなみに現在の委員は、
委員長 白石 洋 議員
副委員長 田嶋輝雄 議員
委員 田島政義 議員
委員 三上正二 議員
委員 附田俊仁 議員
委員 岡村茂雄 議員
です。

学生：常任委員会の委員長や議長経験者の方々がメンバーなのですね。

先生：そのとおり。議会運営委員会で決定または申し合わせをした事柄に基づき、議員の活動基準が作られたり、規制することになるなど、議会運営委員会は、とても強い調整機能を持っているのです。



吉川 正純 氏

代表監査委員

第1回臨時会 報告

○専決処分事項の報告

- ・自動車損傷事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて（報告5号）

☆全会一致で承認

- ・自動車損傷事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて（報告6号）

☆全会一致で承認

- ・指定居宅サービス等の事業の人員、整備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の公布に伴う関係条例の整備に関する条例について

☆全会一致で承認

- ・町税条例等の改正

☆全会一致で承認

- ・承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関

する条例の改正

☆全会一致で承認

- ・原子力発電施設等立地地域における固定資産税の特別措置に関する条例の改正

☆全会一致で承認

《令和2年度予算関係》

- ・一般会計補正予算（第13号）

☆全会一致で承認

- ・一般会計補正予算（第14号）

☆全会一致で承認

- ・国民健康保険特別会計補正予算（第6号）

☆全会一致で承認

- ・後期高齢者医療特別会計補正予算（第5号）

☆全会一致で承認

- ・介護保険特別会計補正予算（第5号）

☆全会一致で承認

- ・七戸霊園事業特別会計補正予算（第2号）

☆全会一致で承認

- ・公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）

☆全会一致で承認

- ・農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）

☆全会一致で承認

- ・水道事業会計補正予算（第5号）

☆全会一致で承認

- ・農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

☆全会一致で承認

- ・一般会計補正予算（第1号）

☆全会一致で承認

- ・農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

☆全会一致で承認

- ・一般会計補正予算（第2号）

☆全会一致で承認

- ・一般会計補正予算（第2号）

☆全会一致で承認

「教えて！

にんに君」コーナー

皆さん、こんにちは。議会についての？（はてな）をにんに君が毎回わかりやすく解説していきます。

「教えて！にんに君」

Vol.3 「町民、町議会、町長をつなぐ三角関係」

これまで Vol.1 で「町議会と町長」、Vol.2 で「町議会と町民」の関係についてお話ししましたが、今回はこの2つをまとめました。

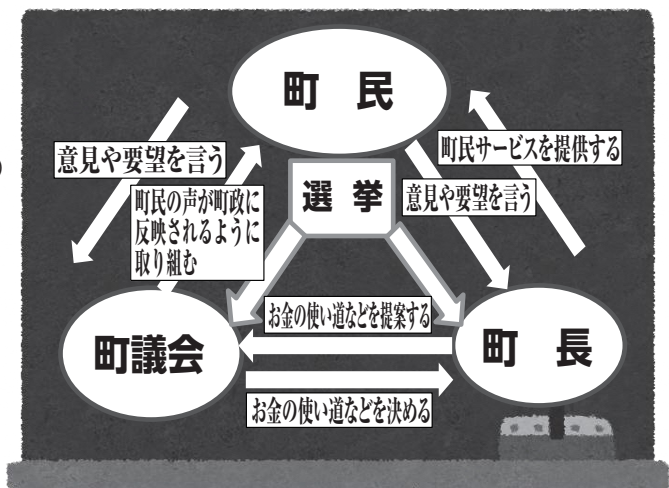
（町議会の役割）

町議会は、町民の代表として選挙で選ばれた議員が集まり町民生活に関わる重要な「お金の使い道」や「ルール」などを決定するところです。具体的には、

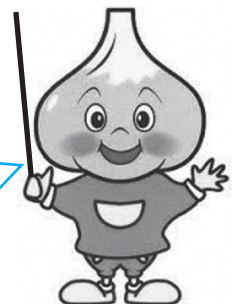
1. まず、町長は、町議会にお金の使い道やルールを提案します。
2. 町議会は、町長の提案を受け、話し合っどどのようにするか決めます。
3. その決定を受け、町長は町民サービスを行い、町議会は、町の仕事がしっかり行われているかチェックします。

また、町民のみなさんからは、町議会に対して意見や要望を直接伝えることができ（請願、陳情）、町議会では、その内容について話し合い、みなさんの声が町政に反映されるように取り組んでいます。

このように、町議会と町長は、対等の立場で話し合いを重ねながら七戸町の発展のため活動しています。



町民、
町議会、
町長の
三角関係



住みよいまちづくりのために



町 政 の こ こ が 聞 き た い

一 般 質 問

6 月定例会では、5 人の議員から 38 件の一般質問がおこなわれ、自治体新電力の取り組みや女性活躍推進法に基づく取り組みなど、活発な議論が展開されました。

「一般質問」は、行財政全般にわたる議員主導による政策論議であり、年 4 回の定例会で行われます。

質問する議員も受ける執行機関も、ともに十分な準備が必要であるため、通告制が採用されています。

議員が行財政全般にわたり、事務の執行状況及び将来の方針等について所信をただし、事実関係を明らかにすることにより、現行の政策の確認、変更、是正、あるいは新規の政策を採用させるなどの目的効果があります。

※通告制とは発言等をする場合、あらかじめ議長に対し、発言要旨等を記載した文書を提出することです。

ページ	質問者	主 な 質 問 項 目
7	町 清 悦 議員	◎自治体新電力について ・町全体の現在の再生可能エネルギーの発電量と、当町が支払っている電気代の総額は。また、電気代削減の取り組みとその効果は。 ・自治体新電力に取り組む考えは。 ・県と協議し、天間ダムの水を利用して水力発電を行う考えは。 ◎道の駅しちのへについて ・プレハブ店舗が有効活用されていない理由は。また、今後活用する計画は。 ・七彩館で販売する農産物の栽培履歴を管理する考えは。 ・業務委託している七彩館の売り場管理と経理の契約金額の算出方法と契約方法は。また、契約を見直す予定は。 ・令和 4 年度からの道の駅しちのへの運営方法をどのようにするか。 ◎低所得者対策について ・当町的生活保護者数の状況は。 ・低所得者世帯を救済するために、町内で利用できる商品券を給付する考えは。

ページ	質問者	主 な 質 問 項 目
8	佐々木 寿 夫 議員	◎コロナ危機から抜け出すための支援について ・2020年商品券発行事業の実績・効果についてどう考えているか。 ・七戸町飲食店等支援臨時給付金の実績・効果についてどう考えているか。 ・七戸町の飲食店の経営状況は怎么样了。 ・今年度、七戸町飲食店等支援臨時給付金を行う考えは。 ◎コロナ後を見据えた町政について ・グリーン・リカバリーの理念に基づく取り組みを実施する考えは。 ・ワンヘルスアプローチの理念に基づき自然と共生する経済社会を作るため、持続可能な農林畜産物等の生産にどのように取り組むか。
9	向中野 幸 八 議員	◎町の発展へと繋げる町長の4つの公約について ・「新たな賑わいの創出」に繋がる施策は。 ・「農業は町の柱」とあるが、どのような展開を図るか。 ・「少子高齢化に対応した強力なサポート」の体制とは。 ・「七戸ならではの教育、文化、スポーツの振興」の実現のための具体的な施策は。 ◎県営の天間ダム及び作田ダムの事業費負担金について ・県営の天間ダム及び作田ダムの事業費負担金の具体的な用途は。 ・ダムに想定外の災害等が発生した場合、国、県、町の対応についてどのような計画になっているか。 ・天間ダム、作田ダムの老朽化に伴う機能維持のため、各種事業が行われる計画はあるか。 ・ダム施設の事業が新たに実施された際の国、県、町の負担金はどのようになるか。
10	山 本 泰 二 議員	◎女性活躍推進法に基づく取り組みについて ・町の女性職員で、管理職、課長職以上の人は何名いるか、その割合と推移は。 ・女性の管理職が少ない理由は。 ・女性が結婚、出産を経ても待遇等に差が出ないようにどのような工夫をしているか。 ・男性職員の育児休暇の取得状況は。 ◎新型コロナウイルス対策について ・新型コロナウイルスの変異株への対応は怎么样了。 ・変異株の感染性の高さを啓蒙し、更なる感染防御行動を訴える考えはないか。 ◎町政デジタル化の移行について ・マイナンバーカードの取得状況は。 ・マイナンバーカードを利用した行政サービスは、どの程度進んでいるか。 ・デジタル庁創設に伴う町の移行準備は進んでいるか。
11	附 田 俊 仁 議員	◎学校規模適正化委員会の活動状況について ・統合した学校の様子はどうか。 ・学区ごとの今後の入学者数の見込みは。 ・城南小と七戸小の統合の必要はあるか。 ◎小中学校における部活動及びスポーツ少年団活動について ・部活動及びスポーツ少年団活動の現状の課題は。 ・指導者の育成、確保は怎么样了。 ・部活動及びスポーツ少年団のクラブチーム化の考えは。

※一般質問は、制限時間50分、通告内容を1件ずつ発言して順番に質疑応答をしていく「一問一答方式」です。

天間ダムで水力発電を

町 清悦 議員



一問一答方式

町長

天間林土地改良区がその水力発電事業に取り組みたいということであり、注視してみたい

議員

当町の再生可能エネルギーの発電量と、電気料金削減の取り組みとその効果は。

町長

庁舎や学校に設置している太陽光発電の出力が95kwで、推計年間発電量は10万kwhを超えています。令和3年1月末現在の民間事業者の発電量は、出力の合計が18万6600kw、推計年間発電量は2億kwhを超えています。これは約4万8千世帯1年分の電力消費量に値します。町が支払った令和2年度の電気料金は約8580万円。以前、役場庁舎の照明器具を省エネ照明に交換した結果、翌年度年間電力使用量が約8%減少しました。また、

電力会社との契約内容を見直すことにより、電気料金の削減に取り組んでいます。

検討しながら、佐井村の形式の自治体新電力を行えるか、その可能性を検討して進めていきたいと思っています。

議員

自治体新電力に取り組む考えは。

町長

発電所を持っている事業所と、発電所を持たないで卸電力取引所から調達するタイプがあります。今年1月、液化天然ガスが入って来ない等の事情で電力の卸価格が20倍まで高騰し、新電力事業者の経営が非常に困難になった状況があり、その辺の不安定さがあります。全国に700社程ある新電力事業者については、ノウハウの不足、経営力や経営体力に対する不安、災害時の対応や責任等様々な課題があります。

脱炭素化を重要施策に置いて、公共施設への再生可能エネルギー設備の増強、事業所や一般家庭への再生可能エネルギーの普及、エネルギーを作る事業と蓄える事業等を

議員

天間ダムを利用した水力発電に取り組む考えは。

町長

天間林土地改良区から県民局へ、天間ダムを活用した水力発電事業に取り組みたいという相談があり、県庁、県民局、土地改良区の三者で、事業化が可能かどうか検討しているということなので、この取り組みを少し注視してまいります。

道の駅ちのへんについて

議員

プレハブ店舗設置の経緯と設置後の運営状況は。

町長

更なる誘客のために、平成31年4月から昨年10月まで、産直の野菜を使ったおひさませんべいとして販売していましたが、費用対効果ということで休止しています。その後

は、物産館内で販売する野菜せんべい、ナガイモコロッケ、季節の天ぷら等を調理する製造場所として利用しています。

議員

これからは、七彩館の回廊に三つの小さなブースの設置を予定しており、これらと合わせて、チャレンジショップや週末の特別販売など幅広く有効活用していきたいと考えています。

議員

金融業務も行っている両農協に、経理業務と栽培履歴の管理を業務委託する考えは。

町長

会員の金融機関別の振込口座は両農協合わせて37%であり、他の金融機関利用者にも配慮する必要があるのではと考えています。栽培履歴の管理については、両農協から指導・助言を頂くことは十分考えられます。

議員

令和2年度の道の駅全体の売上が、前年度に比べ10%減の約6億6千万

円だった。売上や利益の減少は、従業員の解雇や給料削減につながる。

株式会社七戸物産協会の従業員数の増減は。

また、令和4年度からの道の駅の運営方法は。

町長

平成31年4月時点は、パート従業員も含めて48人で、現在は41人です。競争原理を働かせることは選定する上で大切な要素の一つではあります。が、この度も、公募によらない指定管理者の選定でいきたいと思っています。

低所得者対策について

議員

低所得者に商品券を無償で給付する考えは。

町長

今年度、子育て世帯生活支援特別給付金（児童一人当たり5万円）が支給されるのでそれは考えていませんが、国の動向を注視しながら柔軟に対応してまいります。

今年度も「七戸町飲食店等支援臨時給付金」を行う考えは

佐々木寿夫 議員

町長

感染状況が深刻な場合においては、給付金というのは必要になると考えている



一問一答方式

コロナ危機から抜け出すための支援について

議員

緊急事態宣言の対象になっっていない本県でも、緊急事態宣言の影響が深刻に現れて、人流が減少していることは直視すべきではないかと思えます。人出が少なくなり、飲食店やそれに繋がる業者の商売はとても危機的状況になっています。町の業者からは「昨年は、国、県、町の支援があったので何とか繋がったが、今年はそれを使い果たし本当に大変な状況」という話を聞きます。コロナ後の対策も大切だが、コロナを乗り越えられるかどうかが喫緊の最

重要課題となっています。

議員

2020年の商品券発行の実績と効果についてどう考えているか。

町長

プレミアム付き商品券、飲食券また、生活応援子育て応援商品券を含めますと、2億1800万円が換金され、この額が町内で消費されたということでありますから、町民をはじめ町内事業者には一定の効果はあったと認識しております。

議員

七戸町飲食店等支援臨時給付金の実績、効果についてどう考えているか。

町長

昨年度は、国の持続化給付金、県の協力金、応援金、そして町の給付金、商品券、飲食券など、多くの経済対策があったおかげで、1年間、何とかあったという声が多いと感じており、倒産、廃業といったことはある程度

防げたものと認識しております。

議員

現在、飲食店等は昨年の支援金を使い果たしたということで大変苦しんでいます。町の飲食店等の経営状況はどうなっているか。

町長

最近の景況調査によると、どん底の状態からは抜け出し、いったん上昇傾向に転じたものの、度重なる第2波、第3波の影響と青森県内の状況悪化も重なり、低い位置で横ばいの傾向にあると分析しております。

議員

町では、6月15日からまた「プレミアム商品券・飲食券」を出すのですが、今年度も「七戸町飲食店等支援臨時給付金」を行う考えはあるか。

町長

青森県が緊急事態宣言あるいはまん延防止等重点措置の区域に適用されるなど、感染状況が深刻な場合においては、給付

金というのは必要になると考えております。今後の状況を注視しながら、必要とあれば躊躇なく判断したいと考えております。

コロナ後を見据えた町政について

議員

いまコロナ禍からの復興の力ギとして「グリーン・リカバリー」が注目されています。これはコロナ禍がもたらした経済危機を脱出する際に、雇用創出や経済成長を達成しつつ、CO₂等の温室効果ガス排出のリバウンドを防ぎ、気候変動や新たなパンデミックに対して強靱な社会を作るという意味でつかわれます。

議員

「グリーン・リカバリー」の理念に基づく取り組みを実施する考えは。

町長

町として、今後、2050年までの長期にわたる脱炭素社会への取り組み

み、これが新たな雇用の創出や新しい産業を生み出せるよう、国や県の動向を注視して町としての役割、方向性を見出し行動していきます。

議員

動物と人、それを取り巻く生態系の健康を一つの健康と考える「ワンヘルスアプローチ」、この理念に基づき自然と共生する経済社会を作るため、持続可能な農林畜産物の生産にどのように取り組むか。

町長

農林畜産分野では、薬剤耐性問題があり、家畜への抗菌剤の使用により過剰な薬剤耐性菌が家畜の治療を困難、家畜等を介して人の感染症の治療を困難にすることが懸念されています。町としては、国の指針に基づき、生産者への啓発活動を推進してまいります。

少子高齢化に対応した 七戸ならではの教育等とは

向中野幸八 議員



一問一答方式

町長

育てるうえでの支援として、
県立七戸高校の公営塾構想もこの一環

町の発展へと繋げる
町長の4つの公約について

議員

①「新たな賑わいの創出」に繋がる施策について

町長

七戸十和田駅周辺は、合併前の七戸と天間林のほぼ中心に位置しており、その西側に隣接していた大規模牛舎の影響で開発が抑制されておりましたが、これを町が買収し公共施設の整備を打ち出したことにより、一気に住宅やアパートの立地が進みました。いずれ役場庁舎もそこへ移転し、総合アリーナを核として、これに荒熊内地区総合開発計画地域を加え、新たな中心市街地形成、賑わいの創出を進めてまいりたいと思っています。

議員

②「農業は町の柱」とあるが、どのような展開を図るのか。

町長

これまでの長い歴史の中で、農業は就業人口でも生産額でも町の産業の柱でありました。しかしながら、国際情勢や国内消費者の嗜好の変化とともに、その柱は年々細くなってきたりします。昨年、ナガイモはコロナに効果があるという、いわゆるコロナ特需があり、豊作でありながら高値が維持されました。半面、今年産米の下落は避けられないとの見通しであります。幸い、シンガポール向け輸出約1万俵は順調であります。これらの継続を国、県に要請しながら、もちろんこれだけではなく、いろいろな農業分野をとくに合わせてその振興策をとりながら、図ってまいりたいと思っています。

議員

③「少子高齢化に対応した強力なサポート」の体制について。

町長

高齢化の時代にあつて、高齢化率が40%を超えてしまいました。これは、まぎれもない事実であります。また、裏を返せば喜ばしい長寿社会の到来であります。目指していくのは、自立して生活する、いわゆる健康寿命を延ばすための施策であります。少子化対策として、独自にいくつかの対策を講じてまいりました。13回の妊婦検診、産後の検診、出産のための交通費の支給。また、育てるうえでの支援として、給食費、医療費の無償化、ヤングファミリー住宅支援。当然、これからも続けます。なお、これに加えて教育、スポーツ、雇用など、トータルで考えるべきものであり、県立七戸高校の公営塾構想もこの一環であります。

議員

④「七戸ならではの教育、文化、スポーツの振興」の実現のため、具体的な施策について。

町長

長い歴史に育まれた教育への情熱は、七戸ならではのものがあつて、これをしっかり引き継いでいきます。具体的には、学力向上に向け最適な教育環境のより一層の充実を図ります。

スポーツ振興としては、総合アリーナ建設によって、国民スポーツ大会の剣道競技誘致をはじめ、スポーツ意識の高揚を図ってまいります。

中世からの長い歴史に培われた七戸の文化は、誇りあるものであり、この継承を図るとともに、二ツ森貝塚の世界遺産登録を目指し、整備を進めてまいります。

県営の天間ダム及び作田ダムの事業費負担金について

議員

天間ダム、作田ダムの老朽化に伴う機能維持のための各種事業が行われる計画はあるか。

町長

天間ダムは、令和4年度までに管理用制御処理

施設や警報局整備、管理棟の撤去をおこなうこととなっております。作田ダムは、今年度中にテレメータ警報設備や自家発電の整備、管理棟の補修等が行われる予定です。

議員

ダム施設の事業が新たに実施された際、国、県、町の負担金はどうなるか。

町長

「県営合理化事業」であれば、国55%、県27・5%、市町村17・5%で、「防災ダム整備事業」であれば、国55%、県39%、市町村6%となります。また、受益者面積等の割合により関係市町村で割合を案分することとなり、天間ダムの合理化事業であれば、七戸町17・201%、東北町0・299%、防災ダム整備事業であれば、七戸町5・493%、東北町0・507%となっております。作田ダムの防災ダム整備事業であれば、七戸町2・8%、東北町3・2%となっております。

女性の管理職が少ない理由は

町長

課長補佐の職員から、その職員の経験年数、管理職としての適性等を考慮し、適材適所に配置している

山本 泰二 議員



一問一答方式

女性活躍推進法に基づく取組みについて

議員

1986年に施行された男女雇用均等法は、1999年の改定により事業主が、募集、採用、昇進、福利厚生、定年、退職、雇用にあたり、性別を理由にした差別をすることを禁じています。2007年の改正では、出産、育児などによる不利益取り扱いの禁止、2017年では、マタニティハラスメント禁止規定、2020年では、パワーハラスメント防止措置が義務付けられました。

また、2016年に施行された女性活躍推進法では、職場における女性の活躍を後押しし、企業

による積極的な女性の活用を図り、国としての女性の活躍の底上げを進めようとしています。

議員

町の女性職員で、管理職、課長職以上の人は何名いるか。その割合と推移は。

町長

全管理職員19名のうち1名で、割合としては5・3%です。なお、第1期七戸町における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画では、令和2年度の目標として女性管理職1名以上登用、第2期行動計画においては、令和7年度までに2名以上登用することとしています。

議員

女性の管理職が少ない理由は。

町長

課長職への登用につきましては、課長補佐の職員から、その職員の経験年数、管理職としての適性等を考慮し、適材適所

新型コロナウイルス

対策について

議員

新型コロナウイルスの変異株への対応は、どうなっているか。

町長

現時点において、変異株に対する特段の対応は行っておりません。今後の感染状況を注視し、対応してまいりたいと思います。

議員

変異株の感染性の高さを啓蒙し、更なる感染防御行動を訴える考えはありますか。

町長

県内の発生状況を注視しながら、防災無線等、必要な手段を通じて注意喚起を行ってまいりたいと思います。

町政デジタル化の

移行について

議員

マイナンバーカードの取得状況は。

町長

令和3年5月16日現在、マイナンバーカードの取得者は、4259名、取得率は、27・6%となっております。

議員

マイナンバーカードを利用した行政サービスは、どの程度進んでいるか。

町長

当町で利用できる行政サービスは、転出・転入の届け出、所得税の確定申告となっております。

議員

デジタル庁創設に伴う町の移行準備は、進んでいるか。

町長

令和3年9月1日に創設される予定であり、いまのところ具体的な政策内容は明らかにはされておりません。引き続き情報収集に努めながら対応してまいりたいと考えております。

城南小学校と七戸小学校の統合の必要性は

附田 俊仁 議員



一問一答方式

教育長

「学校規模適正化検討委員会」を設置し、統合について検討していく

議員

「教育の町、七戸」。これまで近隣市町村より早く、果敢に教育の問題に取り組んでまいりました。天間林地区の小学校、中学校の統合のほか、給食費の無料化、町独自の教員採用による少人数学級の確保などが挙げられます。このように子供たちの教育環境の整備は、我々町民が次代を担うであろう子供たちへの投資であり、言葉を変えれば、「教育は20年先の政策」であるというふうに言えると思います。

代の人たちに背中を語れることではないでしょうか。

学校規模適正化委員会の活動状況について

議員 統合した学校の様子はどうか。

教育長 学校統合後、天間林中学校は4年、天間林小学校は2年が経過しましたが、各学年が複数学級であることは、児童、生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力をさらに伸ばし、生きる力がより生まれるものと考えております。

議員

学区ごとの今後の入学者数の見込みは。

教育長

城南小学校は、令和4年度21人、令和5年度7人、令和6年度19人、令和7年度11人、令和8年度14人、令和9年度12人

となっており、

七戸小学校は、令和4年度34人、令和5年度35人、令和6年度29人、令和7年度28人、令和8年度20人、令和9年度15人となっており、

天間林小学校は、令和4年度33人、令和5年度43人、令和6年度41人、令和7年度22人、令和8年度22人、令和9年度22人となっており、

議員

城南小学校と七戸小学校の統合の必要はあるか。

教育長

今後の入学者数の調査から、令和8年度には、城南小学校の入学見込人数が14人、七戸小学校の入学見込人数は20人、両校合わせて34人と見込んでおりますが、青森県教育委員会が定める学校編成基準の1学級35人を下回ってまいります。今後の入学者数の減少を見据え、令和5年度には、「学校規模適正化検討委員会」を設置し、城南小

学校と七戸小学校の統合について検討していかねければならないと考えております。

小中学校における部活動及びスポーツ少年団活動について

議員

部活動及びスポーツ少年団活動の現状の課題は。

教育長

学校部活動の課題は、児童、生徒の減少により、部活動種目も減少していることから、希望する部活動がないため、町外の学校へ進学する事例や、団体種目においては、単独でチームが組めないため、複数の学校による合同チームで大会に参加する事例も見られます。

スポーツ少年団活動の課題としては、学校部活動同様、団員数の減少から、チームが組めない団体競技もあります。

議員

指導者の育成、確保はどうなっているか。

教育長

学校部活動については、顧問の教職員と町体育協会員や保護者等の外部指導者の協力を得て指導に当たっております。国では、平成29年に「部活動指導員」を制度化しております。今後は、この事業の活用も見据え、適正な指導者の育成、確保に努めてまいります。

なお、スポーツ少年団については、それぞれの団体に所属する競技経験者や保護者が主体となつて指導に当たっております。

議員

部活動及びスポーツ少年団のクラブチーム化は。

教育長

令和2年度に、「小中学校における運動部活動の方針」を策定し、検討することとしております。学校教育と社会教育の融合策を検討しながら、児童、生徒のニーズに対応できるよう関係機関と協議してまいります。

委員会の動き

◎総務企画常任委員会

開催日 令和3年5月14日

案件 ① 令和3年度各課事務事業計画について

② 6月定例会の各課懸案事項について

③ 令和2年度徴収見込み（税務課）

内容 ①②事務事業計画等及び懸案事項については、関係課長より説明を受け協議した。

③徴収見込みについては、税務課長より説明を受け協議した。

説明を受け協議した。

◎建設産業常任委員会

開催日 令和3年5月17日

案件 ① 令和3年度各課事務事業計画について

② 6月定例会の各課懸案事項について

③ 滞納状況（建設課・上下水道課）

内容 ①②事務事業計画等及び懸案事項については、関係課長より説明を受け協議した。

②滞納状況については、建設課長及び上下水道課長より説明を受け協議した。

下水道課長より説明を受け協議した。

◎文教厚生常任委員会

開催日 令和3年5月18日

案件 ① 令和3年度各課事務事業計画について

② 6月定例会の各課懸案事項について

内容 ①②事務事業計画等及び懸案事項については、関係課長より説明を受け協議した。

令和3年6月2日

案件 ① 請願の取り扱いについて

内容 ① 「学校給食の無償化に関する請願書」について審査し、採択すべきものとした。

◎議会運営委員会

開催日 令和3年5月20日

案件 ① 6月定例会の会期日程等について

内容 ・提出議案について

総務課長及び財政課長より提出議案等の説明を受け審査した。

・一般質問通告書について

質問内容等を審議した。

・選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について

選挙方法等を審議した。

・請願の取り扱いについて

請願1件を文教厚生常任委員会へ付託することにした。

・町議会会議規則の改正について

改正内容を審議した。

・道路整備促進特別委員会の設置目的の追加について

追加する目的の内容について審議した。

・会期について

会期日程を審議した。

・議員派遣について

県町村議会議長会主催の議員研修会に派遣することにした。

・追加日程で審議することにした。

追加する目的の内容について審議した。

・追加日程で審議することにした。

追加する目的の内容について審議した。

追加する目的の内容について審議した。

追加する目的の内容について審議した。

追加する目的の内容について審議した。

追加する目的の内容について審議した。

追加する目的の内容について審議した。

追加する目的の内容について審議した。

◎議会全員協議会

開催日 令和3年6月1日

案件 ①（仮称）七戸町公営塾の事業概要について

内容 七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

七戸高校魅力向上について、教育長、学務課長より事業概要の説明を受けた。

編集後記

6月定例会でも新型コロナウイルス関連について、多く取り上げられました。

（小坂）

町からは、ワクチン接種の計画が説明され、一般質問でもいろいろと議論されました。

町民はもとより、全国民がワクチン接種を完了し、一日も早く普通の生活に戻るよう議会で

町民はもとより、全国民がワクチン接種を完了し、一日も早く普通の生活に戻るよう議会で

町民はもとより、全国民がワクチン接種を完了し、一日も早く普通の生活に戻るよう議会で

町民はもとより、全国民がワクチン接種を完了し、一日も早く普通の生活に戻るよう議会で

町民はもとより、全国民がワクチン接種を完了し、一日も早く普通の生活に戻るよう議会で

町民はもとより、全国民がワクチン接種を完了し、一日も早く普通の生活に戻るよう議会で

町民はもとより、全国民がワクチン接種を完了し、一日も早く普通の生活に戻るよう議会で

議会広報編集特別委員会

7月1日・8日 開催

委員長 山本 泰二

副委員長 佐々木 寿夫

委員 小坂 義貞

二ツ森 英樹

向中野 幸八

中野 正章